

『「入院心不全患者における塩分摂取状況と栄養指標との関連因子の探索」
の臨床研究へのご協力をお願い』

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】

入院心不全患者における塩分摂取状況と栄養指標との関連因子の探索

【研究責任者】

栄養管理室 津田美怜

【研究の背景】

心不全患者さんは、超高齢化により 2035 年までに 132 万人に達すると報告されており、増加の一途をたどっています。心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、徐々に悪くなり生命を縮める病気です。心不全の増悪は塩分摂取過多が原因の一つであり、塩分摂取状況の把握は管理栄養士にとって非常に重要です。

心不全患者さんは減塩が必要ですが、過度な塩分制限は食欲を低下させ、低栄養や予後を悪化させる恐れがあります。そのため、心不全患者さんにおける塩分制限の指導は低栄養にも注意する必要があります。しかし、低栄養と塩分摂取量との関連については不明です。

【研究の目的】

心不全患者さんにおける再入院予防のための減塩指導を強化し、低栄養にも配慮した栄養管理を行うために、入院心不全患者さんの塩分摂取状況と栄養指標との関連を明らかにすることとしました。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

西暦 2021 年 7 月 1 日から西暦 2023 年 11 月 30 日の間に長崎医療センター、循環器内科に心不全増悪の診断で入院し、心臓リハビリテーションを実施した患者さん

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、入院時と退院時の体格指数、主観的包括的評価、心不全入院歴の回数、個人栄養指導歴、主観的包括的評価による食事摂取量の変化、生活背景（同居の有無、調理担当者、就労の有無）、検査結果（血液検査、画像検査）、NYHA 分類※¹、持参薬の有無、塩分チェックシート

※1 心機能および心不全レベルの評価方法

[個人情報取扱]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
栄養管理室 津田 美怜
電話番号：0957-52-3121（代表）